

# ひらかれたみんなの川をめざして ～ みんなの川 揖保川会 ～

お問合せ：みんなの川揖保川会 ☎671-2515 兵庫県宍粟市山崎町五十波 1013 揖保川漁協内 Tel 0790-62-6633



## 揖保川（いぼがわ）について

揖保川の源流は、中国山脈に連なる藤無山。そこから流れ出た小さな流れは、引原川と合流し、宍粟市を南流し、たつの市へ流れます。その後、姫路市を流れる林田川と合流し、太子町をぬけ、播磨灘に注ぎます。

幹川流路延長は約 70km、流域面積は約 810km<sup>2</sup>で、その流域の 3市1町に約 20万人の人が住んでいます。産業は、揖保川の清流や伏流水に依存したうすくち醤油、手延べ素麺、播州皮革などが盛んです。

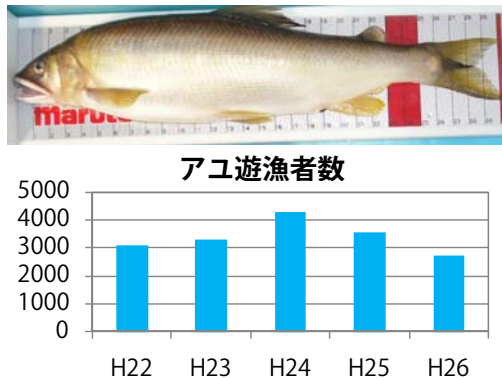


## 様々な魚が暮らす揖保川

平成 19 年度河川水辺の国勢調査によると、揖保川には 83 種類の魚類が確認されています。また、そのうちレッドデータブック等に記載される重要種が 17 種と全国的にも多い状況にあります。

揖保川といえばアユも有名で、近畿や中国地方から毎年 3,000～4,000 人の釣り人が訪れています。

このように、多くの魚が暮らす揖保川ですが、近年、濁水の長期化、伏流水や流量減少、砂の堆積など、魚の産卵や成育に悪影響を及ぼす様々な問題が生じています。また、川で遊ぶ子どもたちや家族連れが減っており、こうした河川環境への関心が薄れています。



## みんなの川揖保川会について

- 設立：平成 25 年 5 月
- 目的：河川清掃や石倉づくり、体験型学習会や試食会を通じて、河川環境の保全回復、教育と啓発、食文化継承を推進する。
- 体制：漁業者、揖保川漁協、農業・観光等関連 5 団体 (1,355 名+5 団体)
- 活動：活動項目及びスケジュールを下記に示す。

|          | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3   |
|----------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|-----|
| 河川ゴミ清掃   |   |   |   |   |   |   |    |    | ○  |   |   | --- |
| 清掃モニタリング |   |   | ○ |   |   | ○ | ○  |    |    |   |   | --- |
| 石倉モニタリング |   |   |   |   |   | ○ | ○  | ○  |    |   |   |     |
| 教育と啓発    | ○ | ○ | ○ | ○ |   |   |    | ○  |    |   |   |     |
| 食文化継承    | ○ |   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  |    |    |   |   |     |

## みんなの川「揖保川」を知ってもらおう

揖保川では、これまでアユ等の産卵場づくりやカワウ対策、種苗放流など河川の環境・生態系に係る保全・再生活動を行ってきました。ただし、こうした活動だけでは、河川環境の回復は図れないのが現状で、流域に暮らす地域住民の協力・理解が必要です。

そこで、本会では、地域住民に参加を呼びかけ取り組む河川清掃や、小学生児童やその家族を対象とした環境教育、川魚の食文化継承活動を積極的に行っています。



## 新たな取り組み「石倉づくり」

最近、ニホンウナギの大幅な減少が話題になっています。揖保川でも、ウナギの減少が認められ、平成 21 年 10,000kg あった漁獲量は 25 年に 4,500kg まで低下しています。ウナギの減少は、本種の棲みかである石の隙間の消失が主な原因と考えられています。

そこで、今年 3 月に石倉を 10 基、河川下流域に設置しました。その後、10 月及び 11 月にモニタリング調査を実施したところ、設置した石倉においてウナギの棲息が確認できました。また、石倉にはウナギだけでなく、餌となるテナガエビなどのエビ類、また兵庫県のレッドデータブックの A ランクに区分されるカワアナゴなどの魚介類の棲息も認められました。

10 月に確認されたウナギは大型のものが多く、また 11 月にその数が減ったことから、海に出て行く産卵群が石倉を餌場や隠れ場などとして有効に利用しているものと考えられました。

揖保川でのウナギの生態は、現在、ほとんど判っていません。今後も定期的にモニタリングを行い、その生態について知見を得るとともに、効果的な保全対策について検討していきたいと思えます。

